

リスク	統制目標	(参考になるCOBITの項目)	統制の状況	整備・運用	予防・発見	手作業・自動化	整備状況			頻度	統制評価手続	評価ならびに検出事項(検出事項がある場合、その影響)	調査番号	リスク評価結果
							文書	プロセス	システム実装					
運1 情報システムの運用管理に関する方針・基準・体制の欠如により、情報システムの信頼性を損なうリスク。	正式に文書化された、データ管理、構成管理、オペレーション、障害対策等のシステム運用管理に関する方針、基準、手続きがあり、IT統括責任者が定期的にレビューし、更新し、承認していること。	PO6.1 PO6.3 PO8.1 PO8.2 PO8.3 DS13.3	1 例)正式に文書化され、IT委員会に承認されている「情報システム運用管理規程」があり、データ管理、構成管理、オペレーション等の情報システム運用に関する事項が規定されている。情報システムの環境が変化した際には、見直している。	整備	予防	手作業	○			年	1 例)「情報システム運用管理規程」がIT委員会に承認されていることを確認し、データ管理、構成管理、オペレーション、障害対策等の情報システム運用に関する事項が規定されていることを確認する。改訂記録を閲覧し、定期的に更新されていることを確認する。			
	情報システムの運用管理を維持する体制が整備されていること。	PO4.4	1 例)IT部門が「情報システム運用管理規程」にもとづき、情報システムの運用管理とユーザへの教育・周知を行っている。バックアップ、自動ジョブスケジューリング等についてはツールを使って効率性、正確性を高めている。	運用	予防	手作業・自動化	○	○		随時	1 例)IT部門の日報、運用記録、サポート台帳等で運用体制が整っていることを確認する。また、運用支援のためのツールと使用状況、管理状況を確認する。			
運2 アプリケーションシステムが規定どおりに正しく運用されず、情報システムの信頼性が損なわれるリスク。	承認され文書化された規定に従ってシステム運用していること。	DS13	1 例)IT部門が「情報システム運用管理規程」にもとづき、情報システム運用マニュアルと運用チェックシートを作成し、運用ミスの防止につとめている。	運用	予防	手作業	○	○		日	1 例)情報システム運用マニュアルと運用チェックシートを閲覧し、適切に運用をコントロールしていることを確認する。			
			2 例)重要な処理や自動化が可能なオペレーションについては、ジョブをスケジューリングし自動化することで、運用ミスを防いでいる。	運用	予防	自動化		○	○	随時	2 例)ジョブをスケジューリングし自動化しているジョブとログを閲覧し、有効に運用されていることを確認する。			